

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-148335(P2005-148335A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-384583(P2003-384583)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 9 0 C

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月22日(2006.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示領域と非発光領域とを備え、

非発光領域は、表示領域の左又は右にカラー画素複数列分の発光層を有することを特徴とする表示装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記非発光領域は、表示領域の左又は右にカラー画素3列分の発光層を有することを特徴とする表示装置。

【請求項3】

表示に寄与する表示画素が2次元配列された表示領域と、

表示領域の外周に形成されて、表示に寄与しないダミー画素を備えた非表示領域と、を備え、

前記表示画素は、カラー画素で構成され、

前記ダミー画素は、前記カラー画素を構成する発光層と同じ発光層を備え、表示領域の左又は右にカラー画素複数列分のダミー画素が配置されていることを特徴とする表示装置。

【請求項4】

請求項3において、

表示領域の左又は右にカラー画素3列分以上のダミー画素が配置されていることを特徴とする表示装置。

【請求項5】

ダミー画素が駆動回路上にあることを特徴とする表示装置。

【請求項6】

表示画素の幅よりも広い幅のダミー画素を備えたことを特徴とする表示装置。

【請求項 7】

内側のダミー画素の幅よりも外側のダミー画素の幅が広いことを特徴とする表示装置。

【請求項 8】

表示画素の長さよりも長いダミー画素を備えたことを特徴とする表示装置。

【請求項 9】

内側のダミー画素の長さよりも外側のダミー画素の幅が長いことを特徴とする表示装置

。

【請求項 10】

千鳥状とストライプ状の発光層を備えた表示装置。